

第186回
愛知学院大学モーニングセミナー

「曾我蕭白 奇想ここに極まれり」
～蕭白の鬼才ワールドを知る～

愛知県美術館 学芸員

由良 濯

2021年9月14日

蕭白の略年譜

享保15年 (1730)	京都の商家丹後屋（丹波屋か）に生まれる。 兄、没。	
元文5年 (1740)	父、没。	
寛保3年 (1743)	母、没。	
延享3年 (1746)	この間、高田敬輔に師事か。	
宝暦8年 (1758)	津市西来寺《竹林七賢図襖》制作（焼失）。	} 第一次伊勢滞在期
宝暦9年 (1759)	津市浄光寺《十六羅漢図襖》制作（焼失）。	
宝暦12年 (1762)	加茂神社《神馬図絵馬》奉納。	} 第一次播州滞在期
明和元年 (1764)	奥田龍溪著『存心』に挿絵制作。	} 第二次伊勢滞在期
明和4年 (1767)	高砂神社《牽牛図絵馬》奉納。	} 第二次播州滞在期
安永4年 (1775)	『平安人物志』に上京在住と載る。	
天明元年	没。	

蕭白の生きた時代

曾我蕭白 (1730~1781) 活躍期は1760年代



狩野永徳 (1543~1590)



尾形光琳 (1658~1716)



喜多川歌麿 (1753~1806)

狩野探幽 (1602~1674)



円山応挙 (1733~1795)

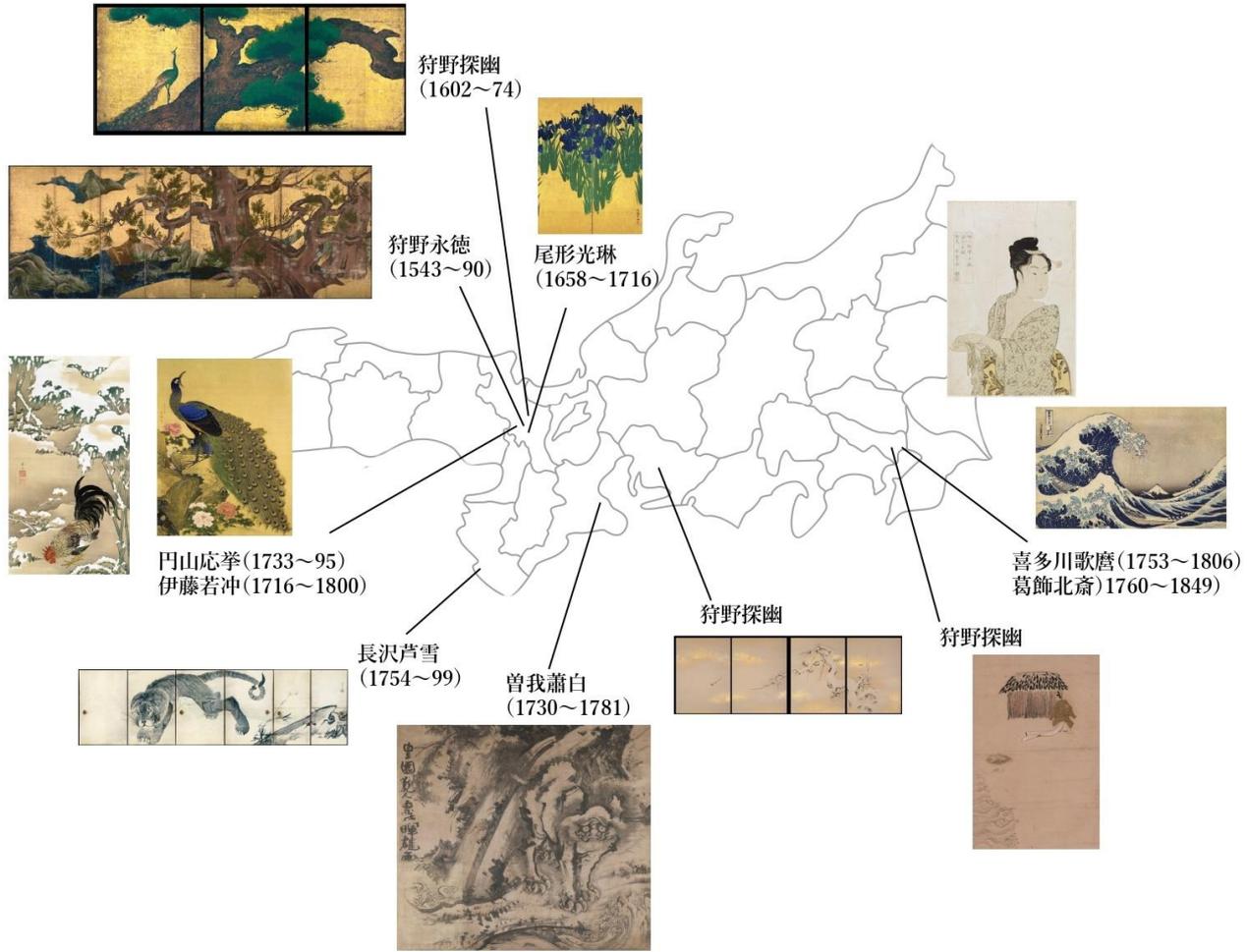


吉冲 (1716~)



葛飾北斎 (1760~)





プロローグ 奇想の絵師、蕭白



曾我蕭白筆《群仙図屏風》文化庁蔵



曾我蕭白筆《群童遊戯図屏風》九州国立博物館蔵

施身聞化：釈迦の前世の話。偈文の後半を聞くために身を投げた説話。



曾我蕭白筆《雪山童子図》 継松寺蔵

第一章 水墨の技巧と遊戯



曾我蕭白筆《林和靖図屏風》三重県立美術館蔵



謡曲「鉄輪」のイメージか

曾我蕭白筆《柳下鬼女図屏風》東京藝術大学蔵



曾我蕭白筆《李白醉臥圖屏風》
三重県立美術館蔵



曾我蕭白筆《塞翁飼馬・簫史吹簫図屏風》
三重県立美術館蔵

第二章 ほとぼしる個性、多様化する表現



曾我蕭白筆《群仙図屏風》文化庁蔵



曾我蕭白筆《唐獅子圖》朝田寺藏

第三章 絵師としての成功、技術への確信



曾我蕭白筆《牽牛図絵馬》
曾根天満宮蔵



曾我蕭白筆《許由巢父圖》三重県立美術館蔵

第四章 晩年、再び京へ



曾我蕭白筆《楼阁山水図屏風》
近江神宮蔵

①

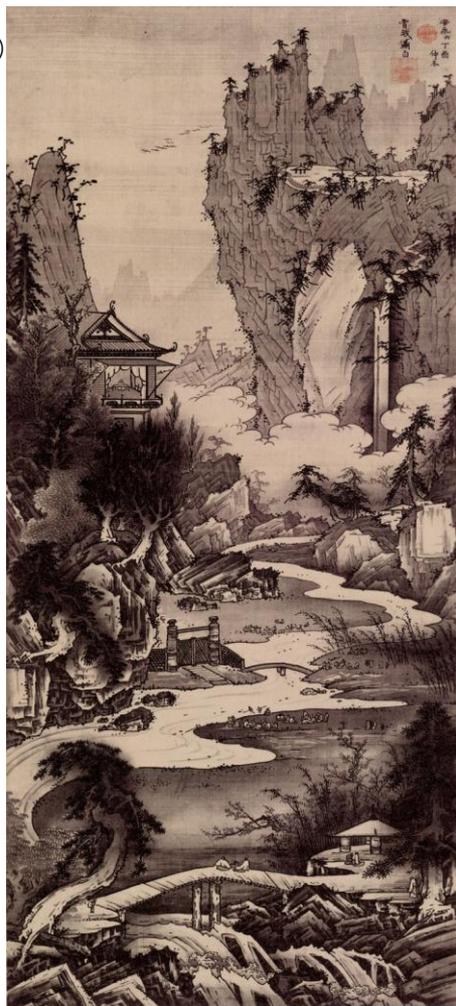


曾我蕭白筆
《蘭亭曲水図》
ビクトリア美術館
蔵

伝曾我蕭白筆
《蘭亭曲水図》
梅林寺蔵

曾我蕭白筆
《蘭亭曲水図》
クリーブランド
美術館蔵

②



③

